



寿光園だより

第 0066 号
平成30年3月 発行
制作: 寿光園広報担当
<http://www.jyukouen.or.jp/>



いつもと違う味わい

11月のとある日、食堂にて「希望外注」が開催されました。外部から料理の出前をしてもらい、皆様に食べていただくというものです。厨房でも季節に応じた料理を普段より提供させていただいていますが、やはり寿司やラーメンといったものは、出前だと違った味わいがあります。普段は少食の入所者様もきれいに食べてしまわれたので、私達職員も大変驚かせられました。



普段から「はろご飯」なども提供しています



かわいい雪だるま



あつあつ、ほふほふ

昨年の12月22日、クリスマスも近い日のことです。こじんまりとした形ではありますがクリスマス会を開かせていただきました。この日は昼食も特別なメニューであり、グラタンや煮込みハンバーグ、ピラフなどを提供させていただきました。お孫さんやお子さんと一緒に食べたかもしれないメニューを揃えてみました。クリスマスツリーを飾ったり、皆で歌を歌ったり、その日は夕方まで入所者様も笑顔が絶えませんでした。



寿光園の食堂の片隅には、大きな円形の暖炉があります。冬場ともなれば毎日のように薪をくべており、それがまた暖かく、入所者様やショートステイ利用者様の方々の語らいの場となっております。雪降る寒い日には暖炉で焼き芋を提供させていただきました。熱いのですが、それがまた嬉しそうに笑顔浮かべて食べておられました。

弥生巡いて。

～薔梅の 香り仄かに 春告げる～ 与一



庭先の梅のつぼみが白く膨らみ、匂いを放ち、自己主張として春を報せてくれている様子を感じたまま五・七・五にしてみました。自然は時に厳しく、また、季節が巡ってくるという期待に応えてくれます。皆様はお健やかに過ごしのことと心よりお喜び申し上げます。また、日頃から何かと寿光園の運営に対しましてご支援とご協力を頂いておりますことを改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

今年は、福島原発事故を伴った東日本大震災から七年を経過します。その間多くの叡智と労力、経費とを費やして被災地の安全・安心を目指した復興に努めていただいています。まだまだこれからも弛まぬ努力が求められますが、同時にそれを支える沢山の人の心も大事であります。そのような意味でメディアからの特集番組などは決して忘れない、忘れてはならないと視聴者に新たな認識として訴えてくれていると思います。

さて、社会福祉法人の役割については国レベルにおいて議論がなされ、公益性の発揮が必要であるとして全国の各社会福祉法人に求めています。当法人といたしましては、平成三年開設からの施設設備の老朽化があり、その改善、福祉人材の確保のための処遇改善及び介護ロボットの導入等について役員・評議員会、更には福島県知事承認を頂戴した課題の改善に取り組んでおります。具体的には、利用者様が車イスのまま入浴できる特殊浴槽の更新設置、認知症者等に対応する離床センサーマットの設置や特別養護老人ホーム部の空調設備の更新、不審者・事故管理等のチェック目的の防犯カメラの設置、施設勤務者の給与改善等が主な改善であります。今後、年次計画により施設内部設備の拡充とともに施設外における地域公益活動にも発展させてまいりたいと考えております。これからも職員共々に努力を重ねてまいりますので、皆様におかれましても、変らぬご支援と忌憚のないご意見をお聞かせいただきますようお願い申し上げます。

寿光園・園長 黒河内 滋

寿光園デイサービス

デイサービスセンター寿光園は、在宅で生活されている介護保険を申請している[要支援1]から[要介護5]の高齢者様に対して入浴介助や機能訓練、レクリエーションを行っています。年間を通して夏祭りや運動会、クリスマス会など、季節に応じた毎月のイベントを通して利用者様に楽しんでいただけるような行事も開催しています。

日中は自宅で横になって過ごしており運動する機会が少ない方、足腰が弱ってしまって自宅で入浴するのが難しくなっている方、近所に茶飲み友達が居ないので楽しくおしゃべりしたい方など、小さな楽しみやちょっとした生活補助の為に利用していただいても結構です。介護申請をしていただいても利用できるので一度見学だけでも来てください。元気で明るい職員一同でお待ちしております！



皆で笑顔で元気に!!

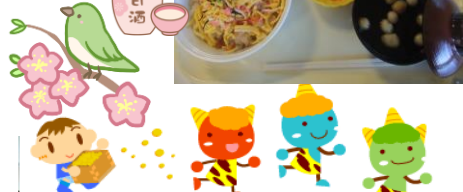


これが一番の介護予防です!!

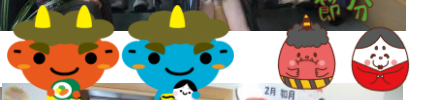


ひなまつり

3月3日は雛祭り。施設でも食堂に雛人形を飾らせていただきました。「うちにある物よりすごく大きい」とショートステイの利用者様も驚いておられました。



無病息災でありますように。



節分

「福はうち一つ、鬼はそと一つ」と威勢の良い大きな掛け声が施設中で響きわたりました。寿光園では毎年の恒例行事として、園長自らが歩いて豆をまいて厄払い、入所者様の皆様と今年一年の無病息災を祈るのです。迫りくる鬼に目を丸くする方もいれば、豆で勢よく出迎える方もおり、この時ばかりは皆さまも童心に戻ったかのように楽しそうな笑顔を浮かべておられました。豆まきが終わったあとは落花生を食べながらお茶を飲んでほっと一息。厄払いの大仕事、今年も本当にお疲れさまでした。



お正月準備に大忙し!!

12月28日、寿光園では食堂を大きく開放してブルーシートを敷いて、借りてきた杵と臼を用いて鏡餅の為の餅つきを執り行ないました。餅つきは男性職員総出で行い、丸める作業は厨房職員と入所者様で行いました。熟年の腕は衰えることなく、みるみる間に大きな鏡餅に仕上がっていきました。年の瀬が終われば、お正月はテレビを観たり、談笑したりとゆっくりと過ぎていきます。正月飾りの鏡餅を見るたびに年末の餅つきについて「あれは凄かった」と話して下さる入所者様もおられました。なかなか過ぎないようで、きっとまたあつという間に過ぎていく一年。今年は何んなことがあるのでしょうか。入所者様やショートステイで来て下さる利用者様に、少しでも季節を感じていただけるようまたこんなイベントを開催したいと思います。



小正月といえば「団子さし」ですね。まだまだ寒い1月15日、施設のいろんな場所で団子を丸めたり、団子に模した最中を枝に挟んだり、入所者様総出で作業する光景が見られました。大きな枝に挿して飾れば、まさにそれは早春の梅を感じさせてくれます。花咲く春が待ち遠しいものです。



御家族様・外部ボランティアの皆様へ



平成29年度におかれましては、たくさんの御面会や御訪問ありがとうございました。ただいま昨年年末より感染症予防対策としまして、施設内への面会や立ち入りの制限を3月現在も継続しております。制限期間につきましては3月31日での終了という規定は設けておりません。インフルエンザの流行や入所者様全体の体調等を最大限に考慮して解除時期を決定致しますので、面会や訪問に関しては事前に電話でのお問い合わせを今後もよろしくお願いいたします。

担当者よりご家族様へ

入所者名: 様
担当職員: